

※「まちなか交通通信」は市のホームページでも見ることができます。

発行：平成 26 年 3 月 北都市街地自治会交通対策連絡協議会

北部
市街地

まちなか交通通信

この通信は、北都市街地の交通対策の検討について、地域の皆さまにお知らせするものです。

第7号

第7回「北都市街地自治会交通対策連絡協議会」を開催しました。

3月12日（水）に川越市役所の会議室にて、第7回「北都市街地自治会交通対策連絡協議会」を開催しました。

今回は、12月～2月までの3ヶ月間の自転車シェアリングの利用状況の報告、中心市街地迂回誘導調査の報告などを受け、意見交換を行いました。

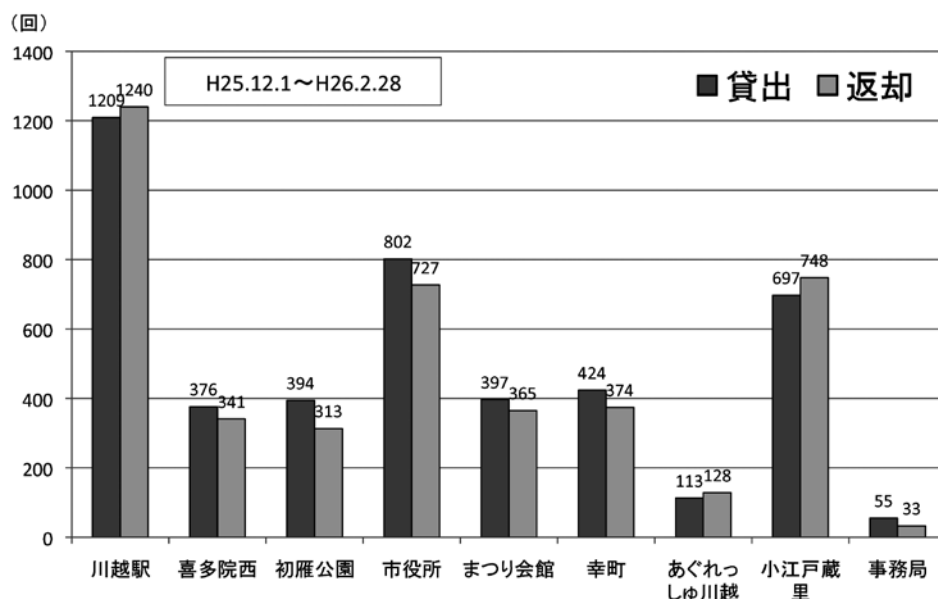
1 川越市自転車シェアリングの利用状況

昨年12月から本格実施の始まった川越市自転車シェアリングの2月までの3ヶ月間の利用状況を確認しました。

利用者数は1,595人（17.7人/日）、利用回数は4,269回（47.4回/日）でした。サイクルポートの利用状況は、「川越駅」、「市役所」、「小江戸蔵里」が多く、「あぐれっしゅ川越」の利用はまだ進んでいない状況です。

来年度は「本川越駅」、「丸広百貨店」に新たにサイクルポートを設置出来ることになり手続きを進めています。また、「あぐれっしゅ川越」にも4月から小江戸巡回バスが乗り

【サイクルポートの利用状況】
入れることになるため、利便性が高まり、利用状況等も変わってくるのが期待されます。



2 中心市街地迂回誘導調査

「あぐれっしゅ川越」の駐車場へ車を誘導するための案内看板の設置前後での駐車場の利用率などを調査しました。結果、看板を見ていない人が圧倒的に多い状況がわかりました。看板等を一部しか設置していないことや郊外型駐車場が観光用の共同駐車場として使えるという周知があまりできていないことも原因とされます。

今後も案内看板の設置を行い、引き続き埼玉大学と調査、共同研究を続けていきます。



3 パークアンドライド

4月1日から小江戸巡回バスを「あぐれっしゅ川越」まで延伸することになりました。これにより、自転車シェアリングとの相乗効果でパークアンドライドの利用状況が上がるのが期待されます。

4 交通対策案の状況と今後について

下線：検討中

現状の課題	考えられる対策	現在の状況
●中心市街地への自動車流入が増加している	○郊外型駐車場 ○パーク＆ライド/サイクル ○公共交通・自転車利用促進 ○コミュニティサイクル実験・試行 ○誘導看板・VICS情報と連動した誘導標識の設置	⇒あぐれっしゅ共同駐車場への誘導 ⇒共同駐車場バス乗り入れ、自転車シェアリング ⇒駅案内板設置 ⇒自転車走行空間整備推進 ⇒本格実施 ⇒表示実施 (VICS 連動)
●交差点を中心とした渋滞が発生している。特に、右折車通過待ちの渋滞	○右折帯のない交差点の右折禁止/優先 (松江町・教会前等) ○信号機の改善	⇒交差点改良の実施 ⇒実施 (現示随時見直し)
●バス乗降に伴う停車や右左折により渋滞が発生	○一番街・東京街道に集中するバス路線の分散	⇒月吉町回りの路線実現
●大型車の通行により、振動・騒音が発生	○送迎・観光バスの任意迂回 ○大型車両の通行規制	⇒実施 (今後も要請継続) ⇒現状把握と方策検討
●観光客等の乱横断、車道歩行等による危険	○マナー啓発	⇒観光案内所等に注意書き掲示。今後、一層強化
●細街路への自動車の流入、通学児童への危険	○スクールゾーンの設定、速度規制	⇒地区ごとにゾーン30による整備を協議・検討

お問い合わせ先

北部市街地自治会交通対策連絡協議会事務局
川越市 都市計画部 交通政策課

〒350-8601 川越市元町1-3-1 電話：049-224-5519 (直通) FAX：049-225-9800

第8回の連絡協議会の日程は未定です。傍聴ご希望の方はお問い合わせください。